



# 防災対策について

無所属の会 市民の力 ● 望月 卓 議員

**問** 大きな地震を繰り返した「熊本地震」が湖南市近郊で発生した場合の災害対応は。

**答** 災害対策本部は、東西の庁舎が使用できない際、代替場所として、共同福祉施設(サンライフ甲西)または、石部防災センターやその他の公共施設で使用可能な施設を市長が指定して設置します。

には、避難者用の災害時特設公衆電話を設置することになっています。

避難場所は、避難生活が可能な指定避難場所として52か所、収容人数合計は1万4796人(1世帯2.5人として、6千世帯)を、確保しています。施設の個別の収容人数は、湖南市防災マップに記載しています。

通信手段は、携帯電話が使用できない際、県と市、防災関係機関相互間は、県防災行政通信システムにより衛星系と地上系の2ルートでの通信を確保しており、地区連絡所など市内においては、市防災行政無線同報系システム、移動系防災行政無線として、トランシーバーなどを確保しています。また、避難場所となる学校の体育館

仮設住宅用の土地は、用地の選定の際できる限り集团的に建築できる公共用地場所として、丸山運動公園、菩提寺運動公園、下田運動公園などを想定しています。が、被害状況により、じゅうらくの里や若竹公園などを想定しています。



滋賀県の活断層

# 教育と文化の力でまちの活性化を

誠心会 ● 松山 克子 議員



**問** 守山市は「音楽文化があふれる街を」という市長のリーダーシップのもと、5年前より「ルシオール・アートキッズフェスティバル」を開催。市民ホールを中心に各施設が連携し、今年は1日で参加者2万4千人の大きなイベントに発展しました。一流アーティストの演奏を子供から大人まで、低料金で楽しめる企画が満載でした。このほかに年間を通じ、ルシオール音楽塾、ルシオール街角コンサートなど、身近に、本物の音楽を手元に届ける事業を実施。「ほたる寄席」や全国規模の剣道大会「ほたる杯」など、ルシオールを市のブランドと位置づけ、成長戦略会議でも「文化の力が経済を引っ張る」と議論されています。

私は、今こそ評価の高い湖南市教育に文化

振興も盛り込み、地域活性化に文化政策を戦略的に発信していくべき時と考えますが、市長の見解は。

**答** 質の高い豊かさや潤いを与えることは大事なことです。市がプロデュースするべきとも考えます。



演奏者と会場が一体となったコンサート(ルシオール・アートキッズフェスティバル)

**問** 外国籍児童生徒の学習を支援する「パツソア パツソ」ボランティアは、指導内容や方法に悩みを抱えて活動しています。情報交換や研修などの機会は。

**答** 各関係団体との情報の共有に努めたいと思います。